



ふくおか【Good👍】農業人100
 主な農産物／米、麦、大豆

甲木 真青さん (29歳) (営農地／柳川市吉原)

収穫の喜びを感じながら毎日頑張っています

《就農のきっかけ》

結婚を機に、妻の実家で就農しました。

実家は農家ではなく、農業にはまったく縁がない環境で育ちました。農業に対しては、特にイメージは持っていなかったそうです。

結婚を機に、妻の父親から「一緒に農業をやらないか。」と誘われて、10年ほど前から農業を始めました。

《これまでの過程》

栽培方法の改善に取り組んできました。

最初は何もわからなかったという甲木さん。妻の父親が、作業ごとにやり方を教えてくれました。就農後2年目頃にJA柳川青年部に加わってからは、青年部の先輩からいろいろ教えてもらいました。人によって、作業のやり方や栽培方法が違うことがあり、そんな時にいろいろ質問して、よりよいやり方を徐々に取り入れていきました。義父母も、そういった手法を認めてくれたそうです。

「これまでに取り入れてきたやり方でよかったのは、麦では、それまでの一般的なドリル播きに代えて、シーディングロータリを用いた全面全層播きを導入しました。作業の省力化が可能になり、播種作業時間が半分近くまで短縮できました。今後は、収量向上を図っていきたいです。」と語る甲木さん。

また、「米では、3年前から麦わらをすき込むようにしています。収量は今のところ変わりませんが、土が柔らかくなってきました。毎年すき込むことで、だんだん良くなっていくと聞いているので、これからも続けていきます。農業をやってきてよかったと思っています。収穫の喜びが何よりです。質・量ともに確保できた時は素直にうれしいです。また、仕事のやりくりをすれば、平日でも時間を作ることが可能な点もよいです。」と笑顔で語ってくれました。



プロフィール

■家族構成／父、母(妻方)、本人、妻、子ども2人 ■営農年数／約10年
 ■耕作(経営)面積／水稲(6ha)、麦(22ha)、大豆(5ha)
 ■販路／直売、JA共販

《これからの展望》

水稲、麦、大豆の
 規模拡大を図っていきたい。

今は、自分と妻、妻の父母の4人で農業をしています。規模拡大を進めていきたいのですが、雇用などの労力面や機械装備の充実など、クリアすべき課題も出てきます。雇用を入れると規模拡大はできると思いますが、米、麦、大豆の体系で、野菜などは導入するつもりはないので、年間を通した作業がなく、なかなか難しい面もあります。



Good👍 成功のためのポイント

やっぱり、やる気が大事です。やってみようという気持ちを持つことです。地元出身でなかったのが、地域の仲間とのつきあいが重要でした。JA青年部や消防団に所属していますが、人とのネットワークがあると、いろんな情報も入ってきます。